

第46期 決算レポート 2019年4月1日～2020年3月31日



株式会社ヨンキュウ

決算ハイライト(連結)



POINT.....1 生餌・配合飼料などの販売数量の増加

POINT.....2 タイ・ハマチの魚価低下による貸倒引当金繰入の増加

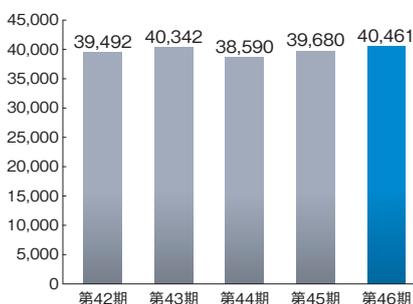
POINT.....3 株式市場の下落により、投資有価証券評価損を特別損失に計上

売上高

40,461 百万円

対前期比 2.0%増 ↑

(単位：百万円)

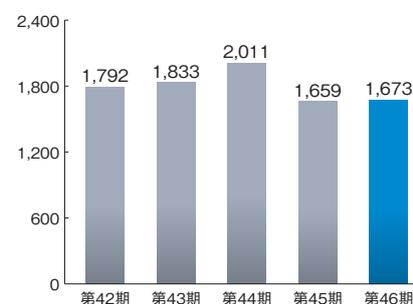


経常利益

1,673 百万円

対前期比 0.9%増 ↑

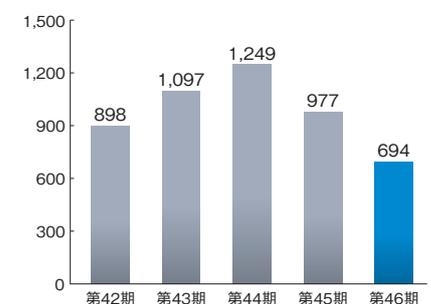
(単位：百万円)

親会社株主に帰属する
当期純利益

694 百万円

対前期比 28.9%減 ↓

(単位：百万円)



第47期業績予想

40,461 百万円

対前期比 0.0% →

第47期業績予想

1,673 百万円

対前期比 0.0% →

第47期業績予想

694 百万円

対前期比 0.0% →

(新型コロナウイルス感染症が第1四半期で収束することを前提)

株主の皆様へ

1963年、豊かな自然に恵まれた愛媛県宇和島市に創業したヨンキウは、養殖漁業を総合的にサポートする企業として、50余年にわたり着実に発展してまいりました。

当社グループでは、うなぎ養殖事業などの新規事業への参入や「コラーゲンシリーズ」「若うなぎ」など養殖魚の新ブランド化への取り組みに加え、環境・生態系に配慮した環境下での養殖業を支援する一環として、アジア初のGSSI（世界水産物持続可能性イニシアチブ）承認の水産エコラベルであるMEL認証取得を積極的に推進しております。

また、本年3月にはお取引先3社と資本業務提携により関係強化を図りました。これにより、商品販売力の拡大・強化、水産資源の持続的利用、健全な漁場環境の保持、ブランドイメージの確立などの複合的メリットを当社にもたらすものと考えております。

今後も、新分野への投資拡大、新規市場の開拓、グループ経営の効率化などにより、経営基盤の強化と収益改善に取り組み、更なる成長を目指してまいります。また、皆様からの幅広いニーズにお応えするとともに、食の安全・安心といった様々な施策を推進し、企業価値向上を目指してまいります。これからも消費者や業界の皆様、地域の皆様に信頼される企業として、水産業の発展に貢献できれば幸いに存じます。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長
笠岡 恒三

営業の概況

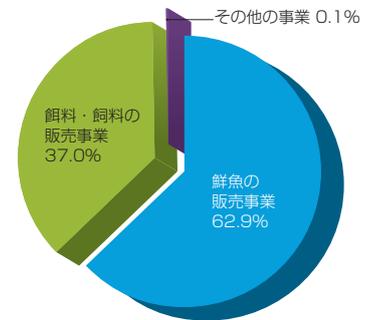
当連結会計年度（2019年4月1日～2020年3月31日）におけるわが国経済は、企業収益が底堅く推移し、景気は緩やかな回復基調が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で緊急事態宣言が発令され、極めて不透明な状況となっております。

また、当養殖業界におきましても、政府や各地方自治体からの外出自粛及び店舗の休業要請等により消費が落ち込み、鮮魚の取扱量が大幅に減少するなど、経営環境は厳しい状況となっております。

こうした状況の中、当社グループの「鮮魚の販売事業」は、タイ・ハマチの魚価が低下する一方、カンパチは魚価が高値基調で推移したことで販売数量が大幅に減少したことなどにより減収となりました。また、「餌料・飼料の販売事業」は、生餌・配合飼料等の販売数量が伸びたことで増収となりました。

利益面ではタイ・ハマチの魚価低下により貸倒引当金繰入（当連結会計年度は2億36百万円の繰入で、前連結会計年度は3億85百万円の戻入であった。）が大幅に増加したものの、本業での利益が増加したため、営業利益及び経常利益は前期実績を若干上回るものとなりました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による株式市場の下落により、投資有価証券評価損を特別損失に計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりました。

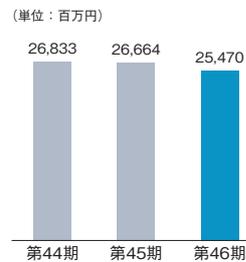
●売上高構成比



売上高



- タイ・ハマチの魚価低下とカンパチの魚価が高値基調で推移したことで販売数量が減少し減収
- 売上高は前期比4.5%減



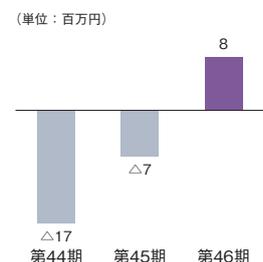
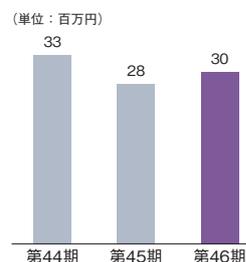
営業損益



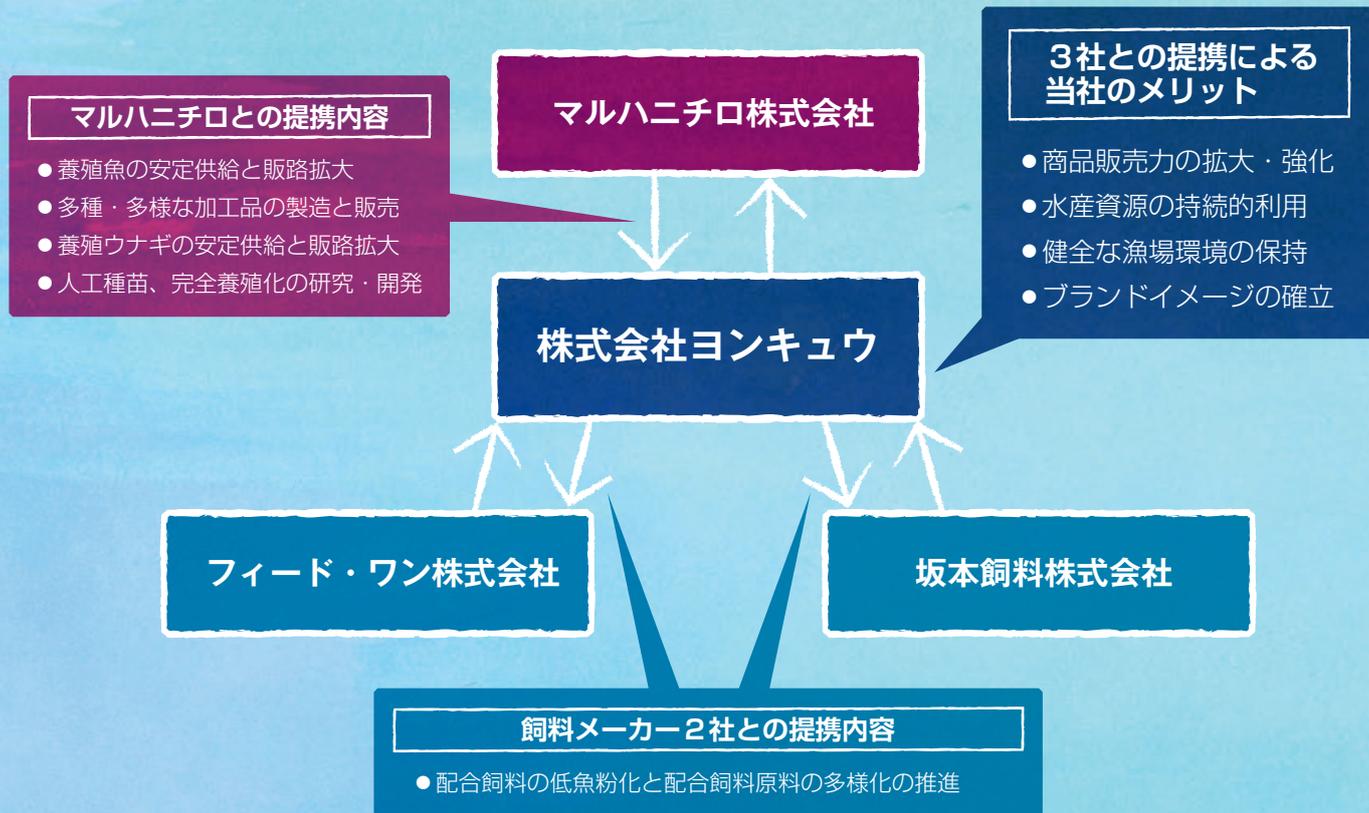
- 生餌・配合飼料等の販売数量が増加したことにより増収
- 売上高は前期比15.2%増



- 売上高は前期比5.6%増



2020年3月 取引先3社と資本業務提携しました。



GSSI承認の水産エコラベルMEL認証取得を積極的に推進しています。



ヨンキュウは、魚、海、地球
そして未来の為に、真剣です。
MELはその証です。

MEL マリン・エコラベル・ジャパンとは

MEL 認証は、GSSIから承認された日本発の水産エコラベルです。
FAOの基準に準拠した世界水準のスキームであり、生物、産業、
食文化の豊かな多様性に恵まれた日本の水産業の実態を反映しています。

ヨンキュウのMEL 認証魚

● コラーゲン鯛

美味しくキレイに！
プレミアムブランドとして
コラーゲン入り飼料を与え
育てた、上質なマダイ



● 若鯛

愛媛の愛ある海育ち！
自然豊かな愛媛の海で愛情
込め育てた、健康で美味しい
マダイ



● 島の鯛

島々の恵みで美味！
自然豊かな愛媛の島でお茶の
粉末入り飼料を与え育てた、
良質なブリ



● 若ぶり

さっぱり涼味！
黒潮の恵みが育む、健康で
ほどよく脂がのった美味しい
ブリ



株式情報 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	12,211,526株
株主数	2,575名

会社概要 (2020年3月31日現在)

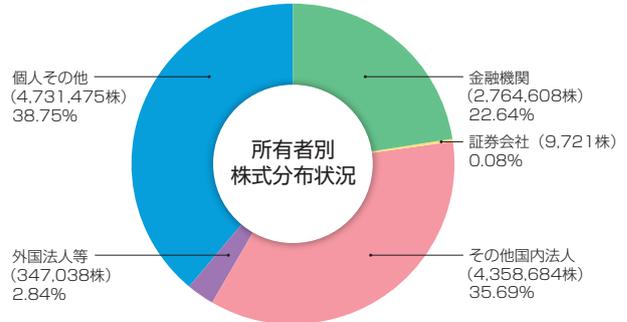
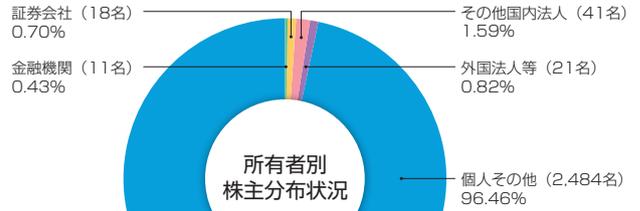
社名	株式会社ヨンキュウ
所在地	愛媛県宇和島市築地町2丁目318番地235
設立日	1963年4月26日
資本金	27億294万5,051円
事業内容	鮮魚販売、餌料・飼料販売、 養殖用稚魚の生産・販売
従業員数	121名
子会社	株式会社海昇 四急運輸株式会社 日振島アクアマリン有限責任事業組合 株式会社西日本養鰻
主要取引先	各地漁業協同組合、各地養殖漁業者、 全国中央卸売市場（荷受会社）

役員 (2020年3月31日現在)

代表取締役社長	笠岡恒三
取締役相談役	笠岡繁樹
専務取締役	清水敏雄
常務取締役	梅田晃三
取締役	高川英穂
取締役	廣瀬了紀
取締役	宇都宮紀志
常勤監査役	若松和志
監査役	鈴木義直
監査役	酒井啓司
監査役	日野正浩

ホームページのご紹介

ホームページからも当社のIR情報をご覧いただけます。
<http://www.yonkyu.co.jp>



(注) 自己株式34,887株は、「個人その他」に含めて記載しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://www.yonkyu.co.jp ただし、やむを得ない事由により電子公告とすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)

養魚グローバルカンパニー 毎日新鮮・毎日安心

